

科 目	英語演習 (The Practice of English)		
担当教員	上垣 宗明 准教授		
対象学年等	電子工学科・3年・後期・必修・1単位 (学修単位I)		
学習・教育目標	B3(80%) D2(20%)		
授業の概要と方針	「発信型英語コミュニケーション能力を持つ、国際的な技術者」に必要な基礎的能力を養うため、文化について実際に表現されている英語を素材に、リーディング・リスニング能力、情報収集力を高め、文化についての知識を身につける。また、TOEICではどのような力がどのような方法で試されるのかを紹介し、実際に演習形式で学習する。		
	到達目標	達成度	到達目標毎の評価方法と基準
1	【B3】 文化的内容について英語で書かれたものを理解できる。		文化的内容について英語で書かれたものを理解できるか、中間試験・定期試験、およびレポートで評価する。
2	【B3】 英語による映像教材を視聴して、その内容が理解できる。		英語による映像教材を視聴して、その内容が理解できるかどうか、演習で評価する。
3	【B3】 TOEIC試験対策の基礎を演習し、身につける。		TOEIC対策の基礎が身についているかどうかを、中間試験・定期試験、演習で評価する。
4	【D2】 文化に関する映像教材を視聴して、日本の文化についての知識を深める。		さまざまな視点から文化について基本的な知識を理解しているか、中間試験・定期試験、およびレポートで評価する。
5			
6			
7			
8			
9			
10			
総合評価	成績は、試験85% レポート5% 演習10% として評価する。到達目標1, 3, 4を中間試験・定期試験で、到達目標1, 4をレポートで、到達目標2, 3を演習で評価する。なお試験成績は、中間試験と定期試験の平均点とする。100点満点で60点以上を合格とする。		
テキスト	プリント		
参考書	「日本ーその姿と心ー」：(株)日鉄ヒューマンデベロプメント (学生社) 「TOEIC600点突破パーフェクト英単語」：小池直己 (南雲堂)		
関連科目	本科目は、2年次英語、3年次英語、及び4年次英語演習に関連する。		
履修上の注意事項	英和・和英辞典を持参すること。		

授業計画 1（英語演習）		
週	テーマ	内容（目標，準備など）
1	イントロダクション	授業内容について説明したうえで，力試しの英語読解などを行う。
2	英語の発音の基礎	英語の発音記号を理解し，正しく発音できるようになる。特に，日本語にない音，まぎらわしい音を正しく発音できる。
3	文化について（1）	文化について書かれた英文の内容を把握し，文法・重要表現・語彙を学習する。
4	文化について（2）	文化について書かれた英文の内容を把握し，文法・重要表現・語彙を学習する。
5	TOEIC対策（1）	TOEICの説明をした上で，学習のポイントを学び，演習問題を行う。
6	TOEIC対策（2）	TOEICの対策として演習課題を行う。
7	文化について（3）	文化について書かれた英文の内容を把握し，文法・重要表現・語彙を学習する。
8	中間試験	これまでの学習内容の理解度を問う。
9	文化について（4）	文化について書かれた英文の内容を把握し，文法・重要表現・語彙を学習する。
10	文化について（5）	文化について書かれた英文の内容を把握し，文法・重要表現・語彙を学習する。
11	TOEIC対策（3）	TOEICの対策として演習課題を行う。
12	TOEIC対策（4）	TOEICの対策として演習課題を行う。
13	映像教材（1）	映像教材を視聴して，英語の口語的表現を聞き取る。
14	映像教材（2）	映像教材を視聴して，英語の口語的表現を聞き取る。
15	まとめ	まとめと復習を行う。
備考	後期中間試験および後期定期試験を実施する。	